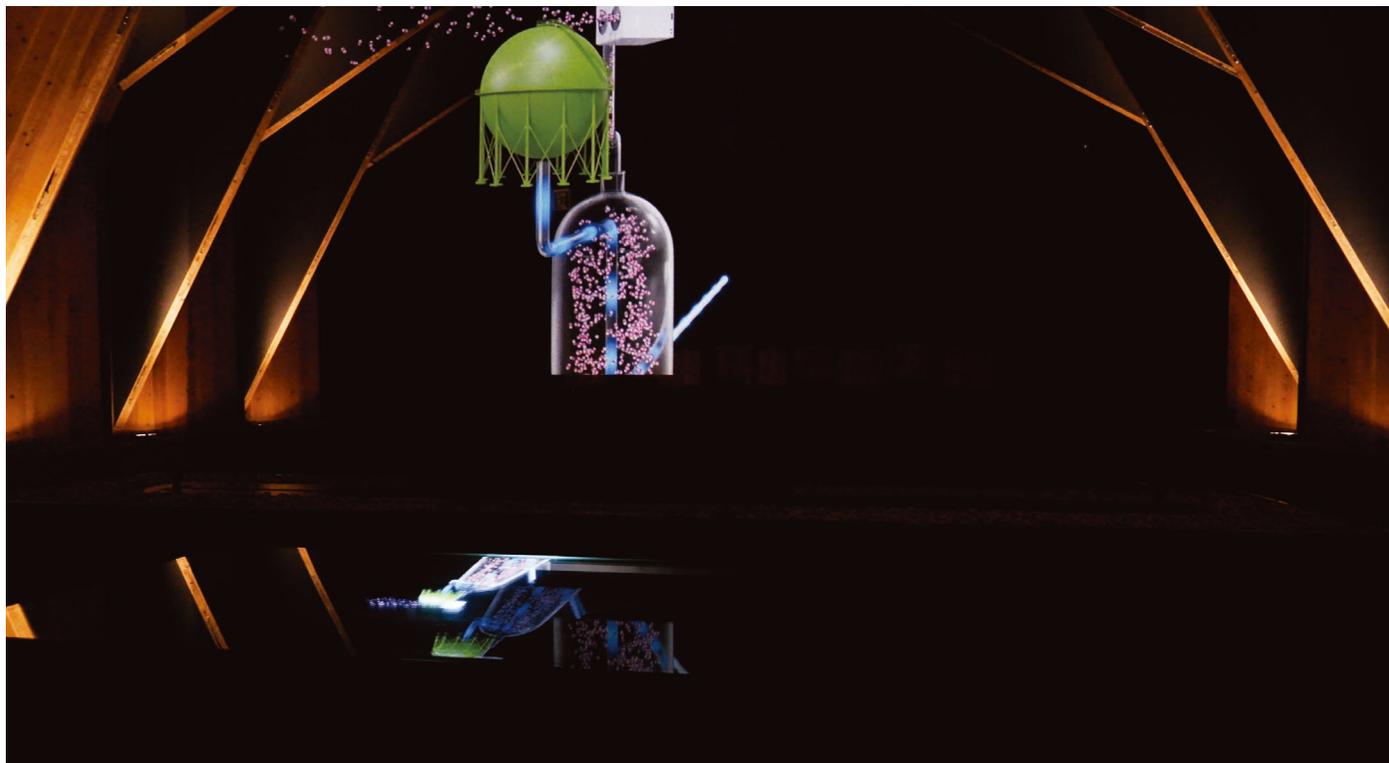


# メッシュスクリーンを使った立体映像により 幻想的で未来感のある空間づくりを実現。



公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 様  
大阪・関西万博「RITE 未来の森」

導入時期：2025年4月  
導入地域：関西

## ポイント

- 3Dメガネなどを着用しなくても立体的なコンテンツ表示が可能。
- メッシュスクリーンは映像が透過するため、両側からコンテンツを観覧可能。
- 広色域化技術を採用し、30,500 lmの明るさを備えたPT-RQ35KJでコンテンツの魅力を実感に再現。
- 超短焦点レンズの活用により、床に埋め込んだプロジェクター1台で高さ5 mのスクリーンへ投写可能。
- 柔らかく、軽量なメッシュスクリーンは可搬性に優れ、会期後の移設も簡単。

## 背景

### 森のように大気中からCO2を取り除く「未来の森」

地球温暖化問題に対する研究・技術開発を行うRITE(公益財団法人 地球環境産業技術研究機構)様は、大阪・関西万博に「RITE 未来の森」を出展しています。同施設は管理区域であるカーボンリサイクルファクトリーに設置され、実証試験中のDACプラント(大気中のCO2を直接回収する装置)を見学できるほか、ガイダンスホールでは映像演出や展示を通じて最新の環境技術を学ぶことができます。そのガイダンスホールの映像表示に、メッシュスクリーンを活用した最新鋭のプロジェクション技術が採用されました。

## 導入した理由

### 映像の表示方法を工夫し楽しみながら学べる空間に

「未来の森」の名の通り、未来感を感じる施設をテーマに建設が進められ、動画上映においても単なる映像表示ではなく先進的な技術を活用しようと機器選定が行われました。VRゴーグルなども検討された中、来場者が何も装着しなくても立体的な映像が楽しめるメッシュスクリーンに注目。没入感のある驚きの映像で、子どもも大人も楽しみながら学べる空間づくりが行われました。

## 革新的な技術開発で地球の未来を守る

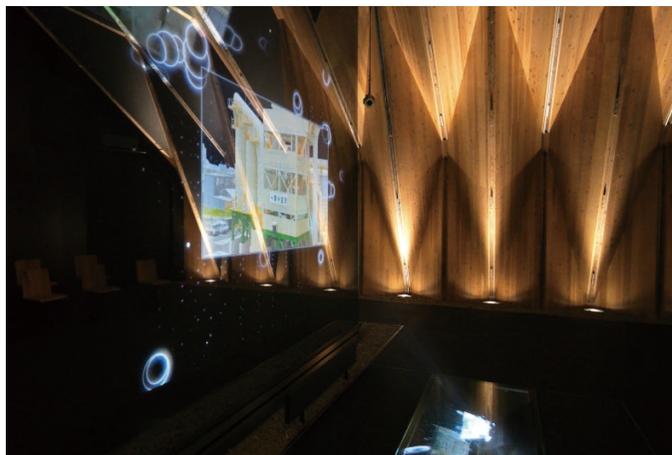
地球温暖化問題に対する革新的な環境技術の開発を推進するRITE(公益財団法人 地球環境産業技術研究機構)様。大阪・関西万博では未来社会ショーケース「グリーン万博」シルバーパートナーとして協賛し、大気中のCO2を回収・吸収し、貯留・固定化する「ネガティブエミッション技術」の実証プラントを出展しています。

- 「RITE 未来の森」ホームページ: <https://www.rite.or.jp/expo2025/>  
※「RITE 未来の森」の見学には専用予約サイトからの予約が必要です。

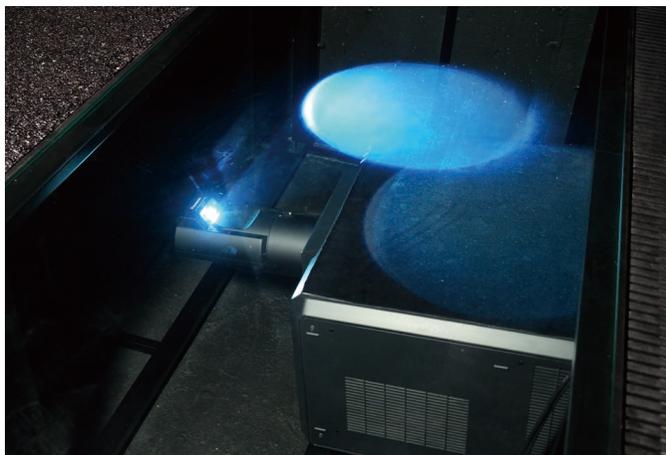


▲ DACプラントのイメージ





▲ 床に埋め込んだPT-RQ35KJで、メッシュスクリーンへ投写している様子



▲ 超短焦点レンズET-D75LE95を装着し、床に埋め込まれたPT-RQ35KJ



▲ 投映していない時のメッシュスクリーンは視界を遮らず空間に溶け込む

## 導入後の効果

### メッシュスクリーンの活用で幻想空間を創造

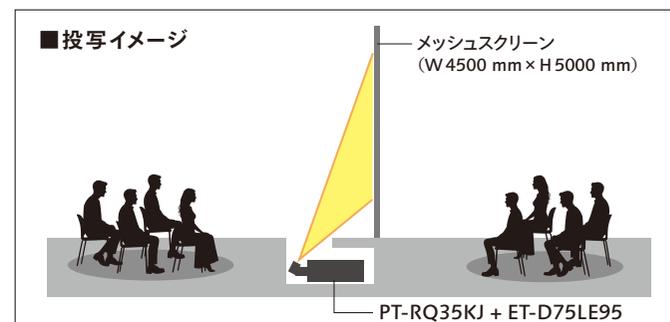
メッシュスクリーンは、一見すると透明で何も無い空間に見えますが、ひとたび映像が投映されると巨大なマッピングが宙に浮いているような印象を与え、来場者に驚きを提供します。3Dメガネなどを配布・回収する必要なく立体的な映像演出が可能なのは、万博という多くの人が訪れるイベントにおいて大きなメリットとなりました。また、スクリーンのどちら側からも観覧できるためスペースの有効利用にもつながりました。

### 超短焦点レンズにより、空間に調和する設置が可能に

投写するプロジェクターには、最新の広色域化技術を採用した30,500 lmの高輝度プロジェクターPT-RQ35KJを使用。クリエイターの求める色調を忠実に再現し、コンテンツの魅力余すことなく引き出しました。レンズは投写距離を大幅に短縮することができる超短焦点レンズET-D75LE95を使用。これにより、プロジェクターを床下に隠しながら、高さ5 mのスクリーンに対し1台で投写することが可能になりました。プロジェクター本体がコンパクト設計な点も、設置時の柔軟性を高めることに貢献しました。



▲ メッシュスクリーンに投映するとコンテンツが立体的に浮かび上がって見える



## 納入機器



3チップDLP<sup>®</sup>レーザープロジェクター  
**PT-RQ35KJ ×1**



固定焦点レンズ(超短焦点レンズ)  
**ET-D75LE95 ×1**

メッシュスクリーン (W 4500 mm x H 5000 mm)

